

## シリーズ「同僚が倒れたら」

### (その3) 119番通報のあとは何をすべき？

**答) 普段どおりの呼吸をしているかをみます。**

**普段どおりの呼吸をしていなければ、心停止と判断して、**

**心臓マッサージ (=胸骨圧迫) をしながら、AED を使う準備を進めます。**

心臓が止まると、呼吸が止まります。したがって呼吸がないということは心臓が止まっているとみて、心臓マッサージやAEDの使用に進みます。

上に「普段どおりの呼吸」と述べたのは、突然の心停止の直後には、しゃくりあげるような変わった呼吸がみられることがあるからです。このような変わった呼吸をしているときは「呼吸をしていない」、すなわち心臓が止まっていると判断します。

呼吸があるかどうかを観察するためには、上図のように、胸と腹の動きをみます。呼吸があれば、呼吸をするたびに胸と腹が上がったり下がったりします。胸と腹が動いていなければ、また普段どおりでない動きであれば、呼吸が止まっていると判断して、心臓マッサージやAEDの使用に進みます。

呼吸の確認にかける時間は10秒以内とします。10秒かけても判断に迷う場合は、呼吸がないものとします。

なお、反応はなくても普段どおりの呼吸をしている場合は、気道確保(下図)を行い、救急車の到着を待ちます。



胸と腹の動きをみることにより呼吸をしているかどうかを判断する。



反応はないが普段どおりの呼吸をしている場合にとるべき体位。